

(様式第1号)

平成28年6月20日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 鈴木 照一 様

代表者 石 垣 昭 一

記録員 遠 藤 喜 昭

班 員 後 藤 和 信

〃 遠 藤 敬 知


〃 笹 原 隆 義



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成28年5月19日(木) 午後7時～午後8時30分	
2 会 場	市立寺津公民館	
3 欠 席 議 員	なし	
4 参 加 者 数	7名	
5 報 告 内 容	議会活動状況説明、2月から4月までの定例会・臨時会で議決した内容、賛否が分かれた議案とその理由など	
6 意見交換の内容 (議会・議員及び市政 に対する意見、提言、 要望等)	意見等	当日の回答
	市民 市長と語る会は直で話を出来るが、市議との会に対する意義が見えない。 議会報告会の参加少ない。何か変化が必要では？(1)	議員 これまで通りやってほしい意見も根強い。更により報告会にしたいので、今後も忌憚ないご意見をいただきたい。
	市民 市民病院の脳ドックの稼働率について、前回の市長懇談会でデータがないとの事。 60歳前後の医療への補助が他の年代に比べ少ない。 脳ドックにしても1回4、5万かかり大変。 市民病院に行ったら、医者がい	議員 病院へ対して提言していく。 同じ考えなので、しっかり力をつくしていく。

	<p>ないので診察できないと言われた。何のための病院か分からない。</p> <p>こういった事が続くと病院の人气が落ちてくる。(2)</p>	
	<p>市民</p> <p>寺津小学校の子供が少ない。複式学級が目の前になっている。非常に危惧している。</p> <p>寺津の人口を増やして、子供の数を増やすために、空き家への更なる支援、優良田園住宅の寺津への造成、高校生の通学でJR駅まで遠いので、学生に対するシャトルバスをお願いしたい。(3)</p>	<p>議員</p> <p>しっかり取り組んでいきたい。空き家に関して、新たに家財道具の片づけ助成をしている。</p> <p>また、シャトルバスは道路整備と一体なので、合わせて提言していく。</p>
	<p>市民</p> <p>住宅造成を市長に要望している。</p> <p>空き家、リフォーム助成の拡大をお願いしたい。</p> <p>空き家について、家主は見知らぬ人への賃貸を渋る傾向が強い。もしもの事があつたら困るから。ただ、目に見える補助があれば賃貸も進むと思う。(4)</p>	<p>議員</p> <p>執行部へ提言していく。</p>
	<p>市民</p> <p>選挙年齢が18歳になるが施策は。(5)</p>	<p>議員</p> <p>地域の運動会でのPR、また学生との懇談会による身近な議会をおこなっている。</p>
	<p>市民</p> <p>平和安全関連法の廃止について、それぞれ考えを聞きたい。(6)</p>	<p>石垣議員</p> <p>賛成。国民の6割が賛成、デモの波が今も国会を包囲しており、また憲法学者も賛成。この法案により、自国が戦争に巻き込まれる恐れがある。安全保障法は立憲主義を無視しており、戦争法であ</p>

		<p>る。そのため廃止に賛成する。</p> <p>後藤議員 反対。私は公明党。党として平和を守る考え。この法案は国民の命・財産を守るために戦争をおこさない為の歯止めの法案である。</p> <p>遠藤敬知議員 賛成。一内閣での解釈変更には疑問を感じる。自衛隊にも家族がある。国民の生命に関わるものは、選挙で国民に信を問うべき。</p> <p>遠藤喜昭議員 反対。誰もが戦争をやりたくない、巻き込まれたくない。一番の危惧は現憲法で中国の挑発や犯罪を国内法で裁かれないのが残念。世の中が変わっていく中、現実合った法の変更が必要。自分の家に泥棒が入ったら自衛する。そういった願いを込めている。</p> <p>笹原議員 反対。この法案を進めることが平和に繋がる。戦後日本が安全でいられた状況と現状況は異なる。アメリカの力が弱まり、隣国が挑発行為を強化している中、日本の安全が脅かされている。それを守るためにもこの法案は必要である。</p>
7 所	感	<p>人数が少なかったが、地域の意見を数多く聞くことができ、状況を知ることができたので有意義に感じた。</p>